

コロナを乗り越え4年ぶりに開催

第55回 全日本歯科学生総合体育大会 開催される

TOKYO

4年ぶりに開催された第55回全日本歯科学生総合体育大会は、昭和大学が事務主管を務め、昨年12月にラグビーフットボール、今年3月にスキーマの冬期2部門が終了しました。残念なことに、今回はアメリカンフットボールが中止となっていました。

夏期部門は、令和5年7月31日に昭和大学上條記念館富士桜で開会式が行われ、学生達の熱戦が8月13日まで繰り広げられました。私も学生部の教職員は手分けをして、各地で活躍する学生の応援にまいりました。

今年は昨年以上の猛暑に加え、突然のスコールなどに見舞われるなかで、学生達の真剣な表情に驚きと元気を与えてもらいました。ここ数年はリモートを主体とした学校生活のため、多くの制限がある中で悶々とクラブ活動を行ってきました。

そして、ほとんどの学生が全日本歯科学生総合体育大会に初めて参加することから、教員もどのような大会になるのか？怪我なく無事に帰ってきてくれるか！？



生命歯学部
学生部長
新谷 明一

など、とても心配でした。しかし、教員の心配を吹き飛ばすような活躍が報告されるに従い、若い力と日本歯科大学の学生の底力を感じることができました。

今大会では、バレーボール部と硬式庭球部は総合優勝を勝ち取りました。バドミントンでは総合2位、バスケットボールは総合3位と健闘しておりました。これらの結果から、日本歯科大学生命歯学部は総合成

績で第4位となりました。これもひとえに、学生のために熱意溢れるご指導をいただいているクラブ顧問の先生方、監督、コーチ、OB、教職員、校友会の先生の皆様のご尽力のおかげと心より感謝いたしております。

第56回大会ではさらに上位の成績を目指し、日本歯科大学一丸となって頑張りますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



バレーボール部



硬式庭球部



サッカー部



バドミントン部



バスケットボール部



剣道部

第55回 全日本歯科学生総合体育大会

NIIGATA

第55回全日本歯科学生総合体育大会は、昭和大学の事務主管のもと、関東地区の会場を中心に開催されました。新潟校からは、陸上部、剣道部、硬式野球部、バドミントン部の4部門が参加しました。

各部ともに健闘しましたが、特筆すべき成績を残したのは陸上部の2年生 高口秀治選手で、男子砲丸投げで第2位となり銀メダルを獲得し、男子200mでも入賞しました。今大会の開催中は猛暑が続き、熱中症なども心配されましたが、顧問の先生方に加え、多くのOB先生方から手厚いサポートや現地での応援を頂いた結果、無事に終了することができました。心より感謝を申し上げます。

新潟校ではコロナ感染予防を最優先に、歯学体不参加の方針を昨年度まで取っていましたが、段階的に部活動を再開し、今年度は歯学体にも参加できました。



新潟生命歯学部
学生部長
小松崎 明

引続き学生部・学生会で連携し、本年度後期からの部活動全面再開に向けて準備を進めています。



陸上部



バドミントン部



剣道部



野球部

第46回 浜浦祭 4年ぶりに開催!!

6月11日(日)に開催いたしました浜浦祭は、無事に閉祭を迎えることができました。新型コロナウイルスの影響により、浜浦祭も中止が続いておりましたが、本年度ついに4年ぶりに開催することができました。



新潟生命歯学部5年
学生委員会委員長
永森 隆太

本年度の浜浦祭準備委員会はゼロからのスタートとなりました。本学学生の多くが浜浦祭を経験したことがなかったからです。コロナ前の浜浦祭のような、あの活気を取り戻すために、伝統的な浜浦祭

を継承する一方で、今年から新しく始めたチャレンジやプログラムもありました。

当日は終日雨が降っており、天候の悪いなかの開催でしたが、部活動対抗クイズ大会、ビンゴ大会、バスケット部による新潟大学との対外試合、認知症カフェ、麻酔学グルンドによるデモ、ダンス部や軽音の発表など、多くのプログラムで、学校関係者だけでなく、地域の皆様にも多数ご参加いただきました。

浜浦祭開催のためにご尽力いただきました皆様、そして、ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

校友会からのお祝い金

6月1日の浜浦祭開会式において校友会役員として佐藤聡教授から幾世橋浜浦祭実行委員長にお祝い金は授与されました。

ありがとうございました。



麻酔学グルンド



クイズ大会



ダンス部



ダンス部発表



浜浦市場

—クラブ活動の現場から— クラブ紹介 ワンダーフォーゲル部

生命歯学部

【活動内容】

月に1回程度、山やハイキングなど自然豊かな場所へ出掛けます。前期は、高尾山、尾瀬国立公園、猿島などへ出かけました。

【雰囲気】

部員数：80人程度

男女比：男1：女3

学年比：各学年10～15人程度

基本的に初心者が多く、在籍人数も多いため、友達作りにも最適です。

部員同士仲も良く、休日もみんなで遊びに行ったり、勉強会を行う人が多いのも特徴です。

【主将からひとこと】

初心者・経験者問わず、どなたでも大歓迎です!! 部活動でお会いできる日を楽しみにしています。



生命歯学部5年
大川 理仁



新潟生命歯学部

ワンダーフォーゲル部は、アクティブで楽しいクラブです。活動日は不定期で部員は約35人、活動場所は様々です。しかし、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されてきました。以前は浜浦祭の模擬店やハロウィンの仮装、登山、キャンプなど多彩な活動が行われておりました。初心者でも気軽に参加できます。部員同士の交流も活発で、先輩方が優しく、気軽に話することができる環境です。

また、合宿や部外のイベントにも積極的に参加することができるため、コミュニケーションスキルの向上や様々な出会いが得られると思います。ワンダーフォーゲル部はアウトドアに興味ある方や新しい友人を作りたい方にとって、とても魅力的な場所です。

ぜひ入部をお待ちしています。



新潟生命歯学部3年
能海 堅斗



国家試験体験記

私は第116回歯科医師国家試験に合格し、現在日本歯科大学新潟病院で臨床研修歯科医として勤務しています。今回は国家試験のために私が行っていた勉強法についてお話ししたいと思います。国家試験に向けて勉強されている皆さんの参考になれば幸いです。

私は科目ごとにまとめノートを作成するようにしていました。具体的にいうと、授業の配布プリント、教科書、国家試験の過去問、模試の問題などを網羅したノートです。ある特定の科目を勉強するにあたって様々な書籍や資料を行ったり来たりするのは億劫だと思ったので「この科目を勉強するときはこのノートさえ見ればいい」と思えるノートを作りました。科目の中でも項目を作って、その項目に関連する教科書のページ、配布プリント、国家試験や模試の問題をコピーしてノートに貼り付けてまとめていました。私は現物のノートにまとめていましたが、PCやタブレット端末でデータとしてまとめたほうが、はるかに効率がいいと思います。まとめることに満足せず、まとめた内容を何度も見返し、知識として定着させることが何より大切です。

最後になりますが、勉強と同じくらい遊びも大切だと思うので、部活や趣味でほどよく息抜きをしながら学生生活を全力で楽しんでください。皆さんの国家試験合格を心よりお祈り申し上げます。



新潟病院
臨床研修歯科医
三尾 久典
(112回)

沖縄 地区別校友会紹介

沖縄県校友会は現在57名(内12名終身会員)、コロナ以前は1月の「ファミリーの集い」として家族新年会を開催、会員によるバンド演奏、ビンゴ・福引など家族への感謝も込めて盛会に開催。6月には定時総会を行い、その後の懇親会では先輩を囲んでの和気あいあいとした雰囲気会で会務を運営しております。コロナ騒動も落ち着き、新たな課題として人生100年における事業承継が喫緊の問題があります。歯科医師国家試験合格者も2千人前後と女性歯科医師の増加に伴う開業への取り組みにも変化をもたらしています。又、後継者のいない診療所も年を追う毎に増加傾向にあります。10数年もしないうちに歯科医師不足の時代が到来し、歯科難民の増加を予感。しかし若い先生方にとってはチャンスでもあります。事業承継の制度を活用できれば、開業時の初期投資も少なく、ある程度の患者さんの確保もでき、将来的に戦略を練ることができます。その知恵を貸すことができるのが、100年を超える歴史をもつ日本歯科大学校友会の凄さです。私の方は幸い40回卒の父親から引継ぎ、数年後には3代目の104回卒の息子へ継続する事ができました。



比嘉 良喬 (70回)

比嘉歯科医院
〒900-0036沖縄県那覇市西1-15-16
098-868-0355
E-mail: yositaka0609@otc.ne.jp

